

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域住民協同のエンカレッジスクール
事業主体 (連絡先)	信州子ども食堂印 SDGs プロジェクト 長野市南千歳 2-15-3 トミノビル 202 TEL.050-5369-1117
事業区分	(2)保健、医療、福祉の充実
事業タイプ	ソフト
総事業費	889,900 円 (うち支援金: 555,000 円)

事業内容

不登校児童を持つやDVなどによる心身ともに傷ついている子どもに、成功体験多様な経験を受ける場を設け、自己肯定感を高める。

●子ども(小学生～高校生)エンカレッジスクール
まったく秘密基地というタイトで場所や時間を明確に公開することなく、子どものプライバシーを守りながらの教室を全14回開催。実施場所は、飯山公民館、山之内町内、HublicNAKANO。

●大人(基本)と子どものエンカレッジスクール
親子で参加できる自己肯定感をアップする各種教室を全7回開催[募集は10回]。実施場所はHublicNAKANOとPC活用の場合のみみつぶす小布施校。

●周知のための広報活動

チラシを新聞折込やポスティング・手渡しで配布。またFacebookなどネットでバナー広告配信。

事業効果

不登校児童を持つ親だけでなく、子育て世帯の親子で楽しめる自己肯定感を持てる良い事業を行うことで、延べ123人に自己肯定感につながる成功体験を実施。

様々なDV等による不登校児童について述べ24人に勉強を教え、復習だけでなく子どもによっては予習も行った。また、自分のペースで進められる今回の学習は、環境の整っていない家庭学習と比較した場合、温度調節も含め、良いペースで勉強できる場所提供が出来た。

広報は、エンカレッジスクールのWEBアクセスから詳細が伝わる形とし、ネット広告ではFacebookで17926回、バナー広告は69980回を表示させた。

今後の取り組み

無償もしくは低価格で提供いただける場所やオンラインを使って、無償ボランティアで行って頂ける講師や、初回無料・お試し参加などの工夫を凝らし、親子で楽しめるスクールは、エンカレッジのWEBを使って告知し、継続的に開催する。

不登校児童の支援については、法律の問題がある限り限界はあるが、やれる範囲で継続し、今後は予防のための活動として、【親子で楽しむイベント】【DVに向けられない貧困家庭への食支援】を継続する。

また、不登校で中卒になってしまった人へ、年代問わず、通信制高校と提携する塾との提携で、自己肯定感があがる活動を続ける。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【2/22 長丘子ども食堂 (ハブリックナカノ)】

【目標・ねらい】

- ① 家庭環境に問題ある子どもや不登校児童への居場所提供。
- ② 親子で楽しめる教室で、成功体験を通じ自己肯定感を上げる。

※自己評価 【C】

家庭に問題ある子どもへのアプローチが出来ても、親の同意が得られない場合参加できない法律上の弱点があり、実施予定数を大幅に下回った。また親に向けた学習要素の高いスクールには募集をかけても集まらなかった。開催場所も募集意図との一致を目指すと思以上に難しかった。